

(資料 2023. 10. 17)

水稻の刈取り状況（10月16日現在概況速報）について

1 水稻の刈取り状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 刈取り終期（90%）は、平年より8日早い10月6日頃と推定されます。
- (2) 10月16日現在、県全体の水田の96%で刈取りが終了しており、地帯別では、北上川上流95%、北上川下流97%、東部94%、北部95%となっています。

表1 県内水稻の刈取り状況（10月16日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	10/16現在の刈取り進捗(%)					本年の刈取り時期(月/日) ²⁾					
	本年	過年次同時期				始期	盛期	終期	平年(月/日) ³⁾		
		平年	R4	R3	R2				始期	盛期	終期
北上川上流	95	82	68	86	86	9/19	9/29	(10/9)	9/24	10/5	10/16
北上川下流	97	88	80	98	91	9/18	9/26	10/5	9/24	10/3	10/13
東部	94	90	84	92	88	9/18	9/26	10/9	9/23	10/1	10/13
北部	95	80	66	87	82	9/19	9/30	(10/11)	9/27	10/6	10/17
県全体 ¹⁾	96	86	76	94	89	9/18	9/27	(10/6)	9/24	10/4	10/14

- 1) 県全体…地帯別の水稻作付面積比による加重平均。
- 2) 刈取り時期…始期：10%、盛期：50%、終期：90% の水田で終了した日。
終期（括弧書き）は、10/16現在で未到達の市町村を含むため暫定値。
- 3) 平年…平成25年～令和4年の10カ年の平均値。

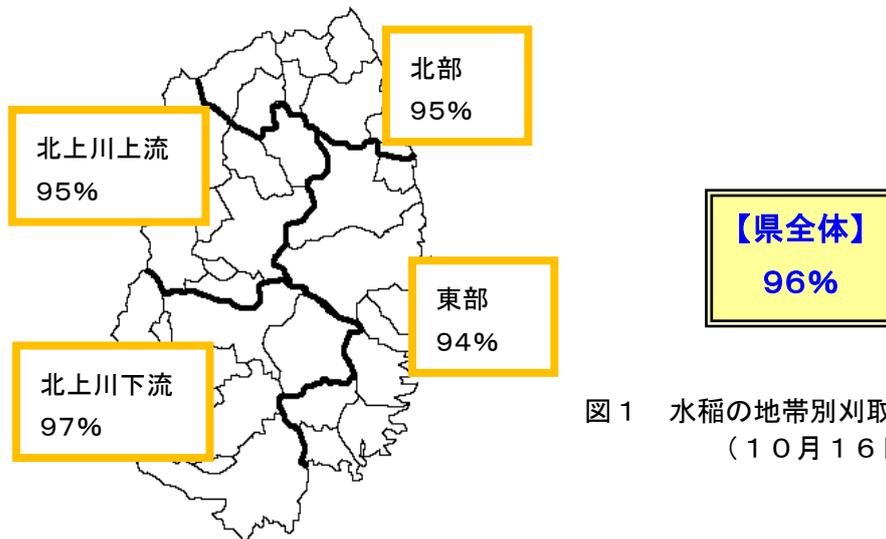


図1 水稻の地帯別刈取り状況（10月16日現在）

2 当面の技術対策

- (1) 刈遅れは着色粒・胴割粒、白未熟粒の混入率を高めるので、速やかに刈取りを終えること。
- (2) 倒伏した圃場では、コンバイン等の作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- (3) 収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- (4) 粃の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- (5) 自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。